

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

Reflection for Secure IT UNIX 7.2 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT UNIX 7.2 を国内リリースする運びとなりました。
以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- 1) Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX サーバ 7.2
- 2) Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX クライアント 7.2

2. 変更内容

- ・従来 7.1 SP2 から、下記機能追加と仕様変更、ならびに不具合対策を実施致しました。

2.1 追加機能と仕様変更

[A] サーバ側/クライアント側 共通

- 1) 次の 2 機能を追加し、ファイル転送の高速化を図りました。
 - a) 動的 TCP スライディングウィンドウ機構を利用した HPN (High Performance Enabled)を採用。
　　> sshd2_config, ssh2_config に "HPNDisabled"設定を追加し、その有効/無効を指定。
 - b) データ圧縮レベルを段階的に調整可。
　　> sshd2_config, ssh2_config の"Compression"設定に、従来"yes/no"指定に加え
　　"0~9"のレベル指定を追加。
- 2) ssh -V コマンドによる表示プラットフォーム名を汎用的表記に変更しました。
- 3) rpm パッケージファイル情報表示に OpenSSH 関連パッケージを追加しました。

[B] サーバ側機能

- 4) AIX の System Resource Controller に対応しました。
　　> sshd に -b オプションを追加し、デーモンでなくプロセスとして起動可能。
- 5) RHEL 5 における /etc/pam.d/ssh 記述内容を 新しい推奨書式に変更しました。
- 6) SUSE Linux における /etc/init.d スクリプトを用意しました。
- 7) "AccountManagement"設定デフォルト値を "pam"から "password,pam"に変更しました。
- 8) "AccountManagement"指定に"password"を含み、かつ 接続ユーザに対する Account Management 状態が既にロック状態である場合に、接続処理開始後パスワードプロンプトまで処理せずに、接続要求受付時に速やかに切断するように変更しました。
- 9) "SettableEnvironmentVars"設定を、"サーバ側環境変数読み取り条件指定" から、"クライアントからの SetRemoteEnv 指定で変更可能とする環境変数指定" に変更しました。

[C] クライアント側機能

- 10) ssh2_config に"SysLogFacility"を追加し、クライアント側でも指定出来るようにしました。

2.2 対応プラットフォーム

- a) HP-UX 11i v3 (Itanium)
HP-UX 11i v2 (Itanium, PA-RISC)
- b) IBM AIX 6.1, 5.3, 5.2 (POWER)
- c) Red Hat Enterprise Linux 5, 4 (x86, x86-64, Itanium)
- d) Sun Solaris 10 (SPARC, x86, x86-64)
Sun Solaris 9, 8 (SPARC)
- e) SUSE Linux Enterprise Server 11, 10 (x86, x86-64)
SUSE Linux Enterprise Server 9 (x86, x86-64, Itanium)

尚 今回、
・SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86, x86-64) に新規に対応し、
・HP-UX 11iv1 (PA-RISC) の対応を終了致しました。

2.3 不具合対策内容

[A] サーバ側機能

- 1) ユーザが core file サイズの soft limit を 指定出来ない問題
- 2) Solaris における グローバルゾーン内 sshd の再起動が、非グローバルゾーン内 sshd のPID に影響する問題
- 3) OpenSSH から scp -r オプションにて再帰的ファイルコピー実施時に"protocol error"となる問題
- 4) NFS 環境をもつサーバにおいて StrictModes 指定時に、公開鍵認証が失敗する問題
- 5) sshd をデバッグモード(-D オプション)で起動時に、クライアント側に不要なメッセージを数行表示してしまう問題
- 6) Solaris において /etc/nologin ファイルの"その他ユーザ"にリード権限を与えていない場合に、ログイン禁止が機能しない問題

[B] クライアント側機能

- 7) scp -r オプション指定時に、誤ってコピー元とコピー先を同一フォルダとした場合に、際限なくサブフォルダを生成し続けてしまう問題
- 8) Solaris から sftp にて 権限のないディレクトリへ cd 移動の操作実施時に、以後エラーとなり抜け出せない問題
- 9) バックグラウンドコマンド投入後、exit 入力でクライアントがハングアップする問題
- 10) 多数のファイル(例えば 30 万ファイル)が存在するディレクトリ下のファイルに対する scp スループットが極端に低下する問題

3. 入手方法

[A] ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様：

- ・弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし入手します。

<手順>

1) 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにアクセス：

i) 直接 URL <<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>> にアクセスする。あるいは、

ii) Attachmate 日本語ホームページ (<http://www.attachmate.jp/>) から

> [サポート] > [ダウンロードライブラリ] とブラウズする。

2) 「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページ内において、

お手元控えの“ユーザ名”と“パスワード”を使いログイン：

3) 表示「保守の内容」ページ内において、対象製品の“ダウンロード”をクリック：

4) 表示「Reflection for Secure IT UNIX Server」又は「Reflection for Secure IT UNIX Client」

一覧において “ファイル名” をクリック：

～ “Current Product Release” に示す一覧が今回リリースしました最新のバージョン 7.2 です。

説明欄に示す該当プラットフォームの“ファイル名”をクリックし、次ページに進みます。

5) 表示「ファイル情報とダウンロード」内容を確認しダウンロード操作：

～ 下部枠内の “輸出規制を含むソフトウェアライセンス使用許諾契約に合意します” をチェック

の上、“ダウンロード:” ファイルをクリックしダウンロードを開始します。

[B] シングルパッケージ購入のお客様：

- ・7.1 以前のバージョンをご使用で、バージョン 7.2 へのアップグレードをご希望のお客様は、下記メールアドレスまでご連絡下さい。有償にてバージョンアップを承ります。

j-info@attachmate.com

以上